
プロジェクト **バーチャル PPA に係る会計上の取扱い**

項目 **第 538 回企業会計基準委員会で聞かれた意見**

I. 本資料の目的

1. 本資料は、第 538 回企業会計基準委員会（2024 年 12 月 25 日開催）で議論された事務局の分析及び提案について、聞かれた意見をまとめたものである。

II. 事務局の分析及び提案について聞かれた意見

（会計処理を行う時点についての再提案）

2. 会計処理を行う時点についての事務局の提案に賛成する。
3. 結論の背景等の文案の作成においては「非化石価値を受け取る権利」という表現は使用しない方がよいと考える。非化石価値自体が化石電源を非化石電源化したと主張できる権利であると考えられるため、そのような権利を受け取る権利という表現により「権利」の取得の意味が曖昧になることを懸念している。発電に伴って需要家は非化石価値を取得しているとみなすことができるため、発電時点から非化石価値を享受しており、合理的に見積ることができる限りその時点で会計処理するという、よりシンプルな表現にしてはどうかと考える。

（開示についての再提案）

4. 現時点では、本プロジェクトが対象とする契約に基づく非化石価値の取得は自己使用目的であり、かつ少量であることは事実であるが、今後、自己使用目的であっても積極的に利用する企業が増加する可能性があり、また、支払価格が固定されていることによる市場価格が下落した場合のリスクはあると考える。公開草案としてはこのままの内容で公表することも考えられるが、コメント募集において開示に関する質問項目を設けていただきたい。

以 上